

番号	氏名	抱負
121	齋藤 茂芳	英文学術誌RPTEの刊行、学術大会の国際化、科研費分科細目への「医学物理学・放射線技術学」の新設により学術団体としての基盤が整いました。この流れを引き続き推進することが本学会の学術的な価値を上げていくことに繋がると考えます。私個人としては2015年から日本放射線技術学会誌の編集委員をつとめさせていただいており、本学会の発展に積極的に貢献したいと考えております。
122	坂本 崇	このたび代議員に立候補させていただきました済生会熊本病院の坂本崇と申します。未来につながる学会づくりに協力していきたいとおもっています。また、少しでも技術学会会員にお役にたてるよう誠心誠意、努力させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
123	坂本 肇	日本放射線技術学会が今後さらに魅力ある学会へと進んでいくためには、学術活動を通じ多くの会員が学会大会への参加と発表を望み、学会誌への論文投稿を積極的に行いたいと思うような運営が不可欠と考える。また、技術学の向上や日常臨床に役立つ技術の習得には、学会による学術活動、各部会の活性化、臨床現場に密着した各専門技師分野への協力、地方支部との連携などの幅広い活動が必修となり、その一助を担えたらと思う。
124	坂本 博	
125	櫻井 実	近年、放射線画像、特に核医学における種々の画像はバイオマーカーとして大きく医療の発展に貢献している。治療薬の効能・効果評価や用量決定等にも利用される機会が増えるとされている。これらの核医学画像の質・定量性等の向上に寄与できるように微力ながら努める所存ですので、宜しくお願い致します。
126	笹川 泰弘	私は診療放射線技師としての職歴は32年あり、その間に放射線診療のすべてのモダリティを経験した。特に核医学関連については、RIA検査、SPECT、PETに携わり、PETの脳血液代謝の研究で博士(医学)を取得した。また、放射線防護領域に関しては、当学会の学術大会で多くの発表を行った。専門領域は、核医学及び放射線防護です。これらの実績と経験を生かし、当学会の代議員として会の発展に寄与したいと考えます。
127	佐藤 順一	多様化する社会の要請に答えるためにも、従来の枠にとらわれず、他の学問領域分野の考えを幅広く取り入れる、柔軟性を持った学術組織となるよう、協力していきたい。
128	佐藤 俊光	日進月歩である医療技術の中で放射線技術は、その最先端に位置するものと考えます。その中心的な学会である日本放射線技術学会のために微力ながら貢献させていただきたいと思えます。
129	佐藤 智春	私は診療放射線技師として長年医療現場において放射線技術を以て患者様のためにベストを尽くしてまいりました。日本放射線技術学会は、私の放射線技術のスキルアップには欠かせない学会であり、本学会がなければ今日の私は存在しなかったと思います。今こそ、本学会の運営に代議員として参加し、これまでのご恩返しをするとともに、私の専門分野だけでなく、すべての放射線技術の向上と発展に尽力を尽くしたいと思立候補いたしました。もし代議員になりましたら、これまで地方部会で企画運営してきたセミナーや学術大会の経験を生かし、学術大会等
130	佐藤 晴美	代議員には、まだまだ女性が少ない状況です。女性の会員や、未入会の医療人が参加したくなるような、魅力ある会にしていきたいと考えます。